



# まちづくり検討会議

## ニュースレター vol.1

令和6年  
6月

## 「まちづくり検討会議」って？

「まちづくり検討会議」は、**地域の方と学生が直接対話し、学生が地域の声を聞いた上で、地域のニーズや課題に対して学生からアイデアを提案し、提案した内容を地域と学生と一緒に実践するという活動**です。

令和6年度に連携するのは茨木地区と福井地区の2地区。福井地区では、**福井地区の魅力**をビジュアル化した「歴史探索ウォーキングマップ」を作成し、マップを活用したウォーキングイベントを実施するほか、**学生の意見を踏ま**た「情報発信プラットフォームづくり」を行います。

令和6年6月2日（日）に、地域の方と学生が顔合わせをし、学生に福井地区のことや、今回の活動内容の詳細を知ってもらうための、第1回まちづくり検討会議を実施しました。



## まずは福井地区を知ろう！

### ◆第1回会議概要

日時 2024.6.2（日）15:00～17:00

会場 福井公民館

参加者数 学生 10名

地域の方 8名

### プログラム

- 1 検討会議趣旨説明
- 2 自己紹介
- 3 地域の紹介と活動内容の説明
- 4 質疑応答
- 5 グループワーク

第1回目の会議では、市職員からまちづくり検討会議の趣旨説明を行った後、参加者全員で自己紹介を行い、その後、福井コミュニティ協議会の阿部会長から、福井地区の紹介と、これからどんな取組を行っていくかをご説明いただきました。

この日初めて福井地区を訪れたという学生がほとんどでしたが、阿部会長が福井地区への熱い思いを乗せながら、丁寧に地区のことを説明してくださったおかげで、学生はこれから活動していく福井地区のことを詳しく知ることができました。



## マップビジュアル班と歴史掘り下げ班

今回の活動では、「歴史探索ウォーキングマップ」の作成と合わせて、マップとリンクした「歴史ガイドブック」も作成する予定です。阿部会長の説明の後には、ウォーキングマップ作成を担当する「マップビジュアル班」2班と、福井地区近隣のスポットの歴史を調べ、詳しい解説を載せたガイドブックを作成していく「歴史掘り下げ班」1班の、3つの班に分かれてグループワークを行いました。

マップビジュアル班の2つのグループでは、他の市町村が作成しているウォーキングマップを参考にしながら、どんなマップが見やすく、どんなコンテンツをマップに載せれば若い方が手に取ってくれるかについて、自由にアイデアを出し合いました。「文字が多いと見にくいので、文字は少なく、QRコードで解説を見れるようにする」といったアイデアや、「インスタ映えスポットもマップに載せる」など、大学生ならではのアイデアもたくさん出ていました。

歴史掘り下げ班のグループでは、どのようにガイドブック作りを進めていくか、今後の具体的な進め方について相談しました。マップやガイドブックには、福井地区のスポットを中心に、福井近隣の、地区外の歴史スポットも掲載する予定ですが、「福井のスポットをより重点的に掘り下げることで、福井の魅力を発信できるのでは」「硬くなりすぎないように、各スポットにまつわるエピソードも掲載する」といったアイデアが出ていました。



## 今後に向けて

今回は、マップとガイドブックの作成に向けて、もっと福井のことを知り、福井の魅力を発見するために、福井地区の歴史スポットを散策するまちあるきを6月30日（日）に実施します。

まちあるきでどんな福井地区の魅力が発見できるか、今から楽しみです！

## 参加者の声

初めは緊張していましたが、地域の方が温かく迎えてくださり、とても和やかな雰囲気でした！福井地区のことはあまり知らなかったのですが、地元の方だからこそ知る魅力を聞いてまちあるきを通じてもっと福井について知れるのが楽しみになりました！！

私は歴史掘り下げ班に入りました。「歴史を調べるなんて自分にできるだろうか」と不安になりましたが、地域の方が「とにかく楽しくやろう」と仰っていて、今後の活動が楽しみになりました。自分なりに少しずつ頑張っていけたらと思います。



立命館大学 土肥さん

Q.第1回検討会議に参加していかがでしたか？



追手門学院大学 上岡さん